

平成7年（1995年）阪神・淡路大震災の復旧

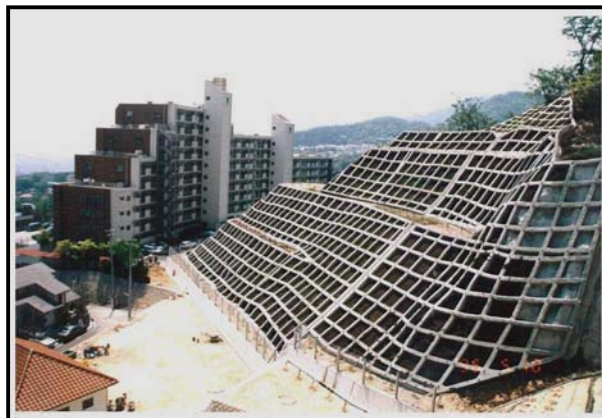
Recovery from the Great Hanshin-Awaji Earthquake

神戸市東灘区住吉台

- 被害状況 住吉台地区住宅街の后背地山腹が、長さ150m、約0.6haにわたって崩壊しました。崩れ落ちた土石は人家、公園、道路まで達し、地域住民に避難勧告が出されました。
- 地形・地質 五助橋断層が北に走る傾斜約60度の山腹斜面で、基岩である花崗岩は深層風化による「マサ土化」が著しく、転石状岩塊として混在していました。崩壊東部には、地震による滑落段差や亀裂が形成されました。
- 事業目的 山腹斜面の拡大崩壊を防止し、斜面の安定を図るため、不安定土石の除去、法枠工等を設置し、森林への復旧と生活環境の保全を図りました。



崩壊直後



工事完成直後



令和元年（2019年）7月30日現在



崩壊直後



工事完成直後



令和元年（2019年）7月30日現在

平成7年（1995年）阪神・淡路大震災の復旧

Recovery from the Great Hanshin-Awaji Earthquake

西宮市塩瀬町生瀬

- 被害状況
- 地形・地質
- 事業目的

崩壊面積約0.9ha（標高170～290m、平均傾斜角32度）

有馬・高槻構造線の影響から六甲花崗岩の風化が著しい。また、奇岩の名勝・蓬莱峡も近い。

不安定土砂の移動防止と斜面の安定を図るため、法切工、土留め工、法枠工を設置、さらに緑化工も施工し森林の機能の回復を図りました。

災害直後↓



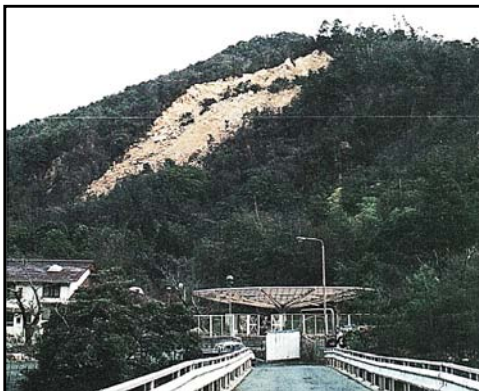
工事施工中↓



令和元年（2019年）7月10日現在↓



災害直後↓



工事完成直後↓

